(平成 15 年規程第 49 号)

**改正** 平成 18 年規程第 7 号 平成 21 年規程第 17 号 平成 24 年規程第 13 号 平成 25 年規程第 43 号 平成 27 年規程第 15 号

自治医科大学学位規程(昭和 57 年 12 月 22 日制定)の全部を改正する。 (目的)

第1条 この規程は、学位規則(昭和28年文部省令第9号)第13条並びに自治医科大学学則(昭和47年2月5日制定。以下「学則」という。)第25条及び自治医科大学大学院学則(昭和53年3月24日制定。以下「大学院学則」という。)第15条の規定に基づき、自治医科大学(以下「本学」という。)において授与する学位の種類、論文審査及び試験の方法その他学位に関し必要な事項を定めるものとする。

(学位の種類)

第2条 本学において授与する学位は次のとおりとする。

学部・学科又は研究科・課程		学位の種類
医学部	医学科	学士(医学)
看護学部	看護学科	学士(看護学)
医学研究科	修士課程	修士(医科学)
医学研究科	博士課程	博士(医学)
看護学研究科	博士前期課程	修士(看護学)
看護学研究科	博士後期課程	博士 (看護学)

(学位授与の要件)

- 第3条 学士の学位は、学則の定めるところにより医学部又は看護学部を卒業した者に授与する。
- 第4条 修士の学位は、大学院学則の定めるところにより医学研究科修士課程又は看護学研 究科博士前期課程を修了した者に授与する。
- 2 博士の学位は、大学院学則の定めるところにより医学研究科博士課程又は看護学研究科博士後期課程を修了した者に授与する。
- 3 前項に定めるもののほか、博士(医学)の学位は、大学院学則第14条の規定により論文 の審査に合格し、かつ、本学大学院医学研究科博士課程修了者と同等以上の学力を有する ことが確認された者にも授与することができる。

(学位の申請)

- 第5条 第3条の規定により学位を受けようとする者は、学位の申請を要しない。
- 2 前条第1項及び第2項の規定により学位を受けようとする者は、学位申請書に学位論文、 論文目録、履歴書を添えて、自治医科大学学長(以下「学長」という。)に提出しなければ ならない。
- 3 前条第3項の規定により学位を受けようとする者は、学位申請書に学位論文、論文目録、 履歴書並びに審査手数料を添えて、学長に提出しなければならない。
- 4 前2項に定めるほか学位申請に係る必要な事項については、別に定める。

5 第2項及び第3項の規定により提出された学位申請書等及び納付された審査手数料は、返還しない。

(研究科委員会への付託)

第6条 学長は、学位論文を受理したときは、その審査を、学位を受けようとする者が属する研究科の研究科委員会(以下「研究科委員会」という。)に付託するものとする。

(審査委員会の設置)

- 第7条 研究科委員会は、前条の規定により学位論文の審査を付託されたときは、当該学位 論文を審査するため、当該研究科の教員3名以上で構成する審査委員会を設けるものとす る。
- 2 審査委員会の委員は、研究科委員会が指名するものとする。
- 3 研究科委員会が必要と認めたときは、第1項に規定する委員に加え、他の大学院、研究所 等の教員等1名を審査委員会の委員とすることができる。

(審査並びに最終試験及び試問)

- 第8条 審査委員会は、第4条第1項及び第2項の規定により学位を受けようとする者について、学位論文の審査を行うとともに、これに関連する科目について最終試験を行うものとする。
- 2 審査委員会は、第4条第3項に規定により学位を受けようとする者について、専攻学術に おいて本学大学院博士課程修了者と同等以上の学力を有するか否かを確認するための試問 を行うものとし、外国語試験を課すものとする。
- 3 最終試験及び試問は、口頭又は筆答による。

(審査期間)

第9条 学位論文の審査及び最終試験並びに試問は、学位申請書を受理した日から1年以内 に終了しなければならない。

(審査委員会の報告)

第10条 審査委員会は、学位論文の審査及び最終試験又は試問を終了したときは、これらの 結果に意見を付して研究科委員会に報告しなければならない。

(研究科委員会の審議)

- 第 11 条 研究科委員会は、前条の報告に基づいて審議し、学位授与の可否について議決する。 (学長への報告)
- 第12条 研究科委員会は、前条の議決を行ったときは、速やかに学位論文に論文審査及び最終試験又は試問の成績並びに決議の結果を付して学長に報告しなければならない。 (学位の授与)
- 第13条 学長は、前条の報告に基づき、第4条第1項及び第2項の規定による者については、 課程修了の可否を、同条第3項の規定による者については、その学位論文の合否を決定し、 課程の修了又は学位論文の合格を決定した者には学位を授与し、不合格を決定した者には、 その旨を通知する。

(学位の名称)

第14条 学位を授与された者が、学位の名称を用いるときは、本学の名称を付記するものと する。 (学位論文の要旨等の公表)

第15条 学長は、博士の学位を授与したときは、当該学位を授与した日から3月以内に、学 位論文の内容の要旨及び論文審査の結果の要旨をインターネットの利用により公表するも のとする。

(学位論文の公表)

- 第16条 博士の学位を授与された者は、当該博士の学位を授与された日から1年以内に、当 該博士の学位の授与に係る論文の全文を公表するものとする。
- 2 前項の規定にかかわらず、博士の学位を授与された者は、やむを得ない事由がある場合には、本学の承認を受けて、当該博士の学位の授与に係る論文の全文に代えてその内容を要約したものを公表することができる。この場合において、本学は、当該学位論文の全文の閲覧を求められたときは、速やかに閲覧に供するものとする。
- 3 博士の学位を授与された者が行う前二項の規定による公表は、本学の協力を得て、インターネットの利用により行うものとする。

(学位授与の報告)

第17条 学長は、博士の学位を授与したときは、学位授与報告書により当該学位を授与した 日から3月以内に文部科学大臣に報告するものとする。

(学位の取消)

- 第18条 本学大学院の学位を授与された者が、次の各号のいずれかに該当するときは、学長は、研究科委員会の意見を聴いて、既に授与した学位を取り消し、学位記を返還させ、かつ、その旨を公表するものとする。
  - (1) 不正の方法により、学位の授与を受けた事実が判明したとき。
  - (2) 学位授与された者が、その名誉を汚す行為をしたとき。

(学位記の様式)

- 第19条 学位記の様式は、別記様式第1号から別記様式第4号までに定めるものとする。 (その他)
- 第20条 この規程に定めるもののほか、学位について必要な事項は、学長が別に定める。

附則

この規程は、平成15年4月1日から施行する。

附 則(平成18年規程第7号)

この規程は、平成18年2月23日から施行する。

附 則(平成21年規程第17号)

- 1 この規程は、平成21年4月1日から施行する。
- 2 改正後の規程は、第4条第2項の規定により学位を受けようとする者については、平成21 年度入学者から適用し、平成21年3月31日に在学する者については、なお従前の例によ る。

附 則(平成24年規程第13号)

この規程は、平成24年4月1日から施行する。

附 則(平成 25 年規程第 43 号)

この規程は、平成25年4月1日から施行する。

附 則(平成27年規程第15号)

この規程は、平成27年4月1日から施行する。

別記様式第1号 第3条の規定により授与する学位記(第20条関係)

卒業証書 · 学位記

[別紙参照]

別記様式第2号 第4条第1項の規定により授与する学位記(第20条関係)

学位記

[別紙参照]

別記様式第3号 第4条第2項の規定により授与する学位記(第20条関係)

学位記

[別紙参照]

別記様式第4号 第4条第3項の規定により授与する学位記(第20条関係)

学位記

[別紙参照]